

# 「交通安全指導者マニュアル」 (幼児用)



令和2年(2020年)6月

豊中市

## 「交通安全指導者マニュアル」について

### 1. 作成の背景

交通ルールを身近なものとするためには、幼少期から生涯を通して継続した教育が不可欠であり、市が行っている交通安全教室だけでは十分とは言えず、その機会を増やすことが課題となっています。一方、交通安全教育を実施するには、道路交通法などの専門知識が必要で、指導者の予習や事前準備などに相当な労力を要することから、気軽に開催しにくい事情がありました。

そこで、誰もが気軽に交通安全教室を実施でき、交通安全について話し合うきっかけとして活用されることを目的に豊中市オリジナルの『交通安全指導者マニュアル』を作成しました。

### 2. マニュアルの特徴

本マニュアルは、短い時間を活用し、少しずつ交通安全について学べるように、10分程度に歩行の基本的な交通ルールについてまとめています。

### 3. 活用方法について（例示）

教材は以下のように、DVD視聴と合わせて25分程度で実施が可能です。交通安全教育をはじめ担当する方が授業や行事の合間に手軽にご利用いただけます。

## 交通安全教育

### 【正しい歩行について】

園児の多くは歩いて行動する機会が多く、幼少期のうちに正しい交通ルールを身に付け、交通安全に対する意識付けを行う必要があります。

#### 【展開例】

「正しい歩行」

場 所：教室及び多目的室（室内）

所要時間：講話（約 10 分）

DVD 視聴（約 15 分）

※DVD については事前に貸出リストより選択

使用教材：①信号（歩行者用）

②信号（車両用）

③標識（止まれ）

④標識（横断歩道）

⑤路面標示（横断歩道）

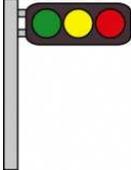
⑥歩道

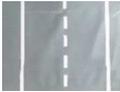
⑦路側帯

⑧道路

※使用教材については市ホームページからダウンロードできます。

	例	ワンポイントアドバイス	使用教材
あいさつ	みなさんおはようございます。 今日は、みんなの命を守る大切なお話をしたいと思います。	◆勉強である事を認識させましょう。	
交通ルール	<p>【信号の意味①】</p> <p>信号のある交差点を渡るときは、人の絵の書いた四角い信号を見て渡りましょう。</p> <p>信号の意味はわかりますか？赤色の時はどうしますか？赤は止まれ、渡ってはいけません。</p> <p>では青はどうでしょうか？青は渡ってもいい色です。でも、あわてて渡らないで、一回止まって車などが来ていないか、右・左・右、周りをよく見ましょう。</p> <p>目だけではなく、しっかり頭ごと動かしましょう。一緒に一度やってみましょう。右・左・右。できましたか？青信号でも、信号を守らない自転車や車がいるかもしれません。今みたいに必ず自分の目で確認してくださいね。</p> <p>では、青色信号がチカチカしているときはどうしますか？四角い信号の青がチカチカしたら、もうすぐ赤に変わるという合図です。渡り始めてはいけません。</p> <p>次の青信号になるまで待ちましょう。</p>	<p>◆四角い歩行者用信号がある場合は、歩行者は四角い信号に従わなければなりません。</p> <p>◆青信号になると同時に渡りだすことは、とても危険です。</p> <p>◆大人の視野が約150度と言われているのに対し、子どもの視野はせまく、約90度といわれています。交差点などでは焦らず、首をしっかり振って、周りをよく見ることを習慣付けることが大切です。</p>	<p>①</p> 

<p>【信号の意味②】</p> <p>信号のある交差点で、車用の丸く光る信号しかないときはその信号をみましょう。</p> <p>赤は止まれ、渡ってはいけません。さっきの歩く人のための信号と同じだね。では黄色はどうでしょう？</p> <p>人の絵の書いた四角い信号には、黄色はなかったよね。</p> <p>黄色はさっきやった青色のチカチカと同じで渡ってはいけません。もうすぐ赤になることを教えてくれています。</p> <p>でも、渡りはじめてからすぐに黄色に変わることもあるよね。このときは渡るのをやめて戻ります。交差点の半分くらいまで渡っていたらそのまま注意して渡り切りましょう。</p> <p>最後は青です。青は渡ってもいい色です。でも、あわてて渡らないで、一回止まって車などが来ていないか、右・左・右、さっきのように頭を動かして周りをよく見てから渡りましょう。</p>	<p>◆黄色信号の意味を「注意」と間違えている人が多いようです。黄色は赤信号と同じ意味です。また、交差点を渡っている途中で信号が黄色に変わることにはよくある事ですのでその場合、どのようにすればよいのかを理解させましょう。</p>	<p>②</p> 
<p>【標識の意味】</p> <p>「止まれ」</p> <p>止まれのマークって見たことがありますか？</p> <p>このマークは、道路の曲がり角などに立っていて「ここから飛び出しては危ないよ」と教えてくれています。一度止まって車が来ないか右・左・右をよく確認しましょう。</p>	<p>◆子どもは標識が大好きです。交通安全教室においては大切なツールとなります。</p> <p>◆飛出しの危険を、子どもの身近な例を挙げて意識させましょう。</p>	<p>③</p> 

<p>また、このマークがなくても、交差点では必ず右・左・右を見て車や自転車が来ていないか確認しましょう。</p>		
<p>【標識の意味】 「横断歩道」</p> <p>この標識はなにか分かりますか？ このマークは、横断歩道がありますよってという意味です。</p> <p>地面に「しましま」の模様があるのを見たことあるよね。道路を渡る時は、このしましま模様の横断歩道を渡りましょう。横断歩道を渡るときも一回止まって右・左・右、をよく見てから渡りましょう。</p> <p>道路はとっても危険です。道路を渡るときは少し遠くてもこのしましま模様の横断歩道を歩きましょう。</p>	<p>◆子どもは横断歩道を、手を挙げて渡ることで「車が必ず止まってくれる」と思いがちです。たとえ横断歩道を渡る場合でも注意が必要です。</p>	<p>④</p>  <p>⑤</p> 
<p>【道の歩き方】</p> <p>道を歩くときはどこを歩けばいいですか？</p> <p>人が歩く道を「歩道」と言います。歩道がある場合は歩道、歩道がなければ路側帯という白い線の中を、路側帯もなければ道路の右端を歩くようにしましょう。</p> <p>道路や駐車場で遊んでいる人はいませんか？危ないので車の通るところでは、絶対に遊ばないようにしましょう。</p>	<p>◆歩道を歩く場合は車道から遠い部分を歩きましょう。</p> <p>◆保護者と並んで道を歩くときは、車道側を保護者が歩くようにしましょう。</p>	<p>⑥</p>  <p>⑦</p>  <p>⑧</p> 

お き い	<p>それでは、今日お勉強した交通ルールについて、おさらいしましょう。</p> <p>貸出し用、交通安全 DVD をご活用いただけます。(約 15 分程度)</p> <p>.....</p> <p>交通ルールをしっかりと覚えましたが！今日、お勉強したことをおうちの人にも教えてあげてくださいね。みなさんも、交通事故に遭わないように交通ルールをしっかりと守ってください。</p>	<p>◆おうちの人と交通安全についてお話しすることで、意識高揚につながります。</p>	
-------------	--	---	--

令和2年（2020年）6月作成

豊中市都市基盤部交通政策課

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL：06-6858-2534

FAX：06-6854-0492

E-mail：[koutsuuanzen@city.toyonaka.osaka.jp](mailto:koutsuuanzen@city.toyonaka.osaka.jp)